



親愛なる姉妹、友人の皆様

クリスマスおめでとうございます！

喜びと驚嘆の祝福が、お一人おひとりの上に豊かにありますように。

この世界に無力な赤ん坊としてお生まれになった、永遠の神、宇宙の主、星と宇宙空間の創り主を祝う時が再びめぐってきました。この神の「創造するエネルギー」は、人間のあらゆる弱さを携えて、私たちの間に住むために来られたのです。

今年、私たちが選んだクリスマスカードには、神の誕生の宇宙的な特質が描かれています。それは、星や惑星の真ん中に、また日の出の中に生まれた宇宙の源である永遠の神を表しています。この神の到来は新しい夜明けを創りだし、私たちの地球に新しい命とエネルギーをもたらします。宇宙的キリストが私たちの星に入って来られたのです。

ヨハネ福音書の冒頭に次のように書かれています。「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので言によらずに成ったものは何一つなかった。」言であるイエスは私たちの間にお住みになりました。クリスマスは、肉となられた言、キリスト イエス、メシア、私たちと共におられる神 — エマヌエル— を観想する時なのです。

原子から星雲に至るまで、万物を存在させられた言、永遠の神がお生まれになりました。キリストは宇宙の仕組みそのもののうちに、つまり、宇宙が生を受けて以来進化し続けているそのパターンのうちにおられます。こうした考えは、想像力を掻き立て、私たちの考えが及びもつかないことを仄めかし、さらに混じりけのない驚嘆をもって立ち止まるよう私たちを駆り立てます。

ニコラ バレは、神の創造、広大な宇宙とその不思議を深く味わっていました。書簡の一つにこう書かれています。「見えるもの、見えざるものを問わず、全宇宙の全ては神の全能の発露であり、神に依存するものであり、神に支えられていることを心して眺めなさい。そして、偉大なる神は“天と地、見えるものと見えないものの創り主”であるだけでなく、現在も万物を創りつつあるお方、今まさに万物を形作っておられるお方であることを感嘆してください。この“感嘆”から私たちは“礼拝”に進みます。」(書簡13)

イエスの生涯の中に、また、歴史的なキリスト教会の生活の中に日頃私たちが見ているものを遥かに超えたところへ導いてくれる、キリストの神秘について深く思いめぐらしてみましょ。キリストこそ物質的な創造の根本的な部分です。ですから、神の顔は宇宙のあらゆるところに、その似姿として刻まれ、現れているのです。宇宙の非常に小さな部分である私たちの地球は、単に私たちに関係あるものとして価値があるのではなく、創造の一部として価値があります。また、地球は尊敬されるべき固有の権利を持った神の子なのです。

このクリスマスに、宇宙的キリストが私たちの想像力をとらえてくださいますように。キリストとそのみ国が伝えるあらゆることに私たちの生活の中心を据えましょ。もしもキリストという型に合わせて、宇宙そのものが進展してゆくのなら、良いもの、神を思わせるものはみな、自然のエネルギーや色や天然の美しさのうちに表されています。日没の美しさであれ、高揚する交響曲のハーモニーであれ、みなその類です。

宇宙的キリストの真理、道、命のうちに私たちの希望を祝いましょ。人間性のすべてを抱くことを学びましょ。前に進む道があります。それはイエスの道です。彼は来られ、私たちのすぐ近くにテントを張られました。彼は、自分の生涯を通して何が本当に人間的であるのかを示されました。また、神との親しい交わり、創造物、人類社会との関わりによって人生が成り立っていることを示されました。この関係性を耕し、育み、又、十全に生きるとき、私たちは、知恵と活力、そして、私たちの間にある神の国の真の啓示を見出すのです。

キリストの降誕は人類にとって最も深い謙遜の例です。しかもクリスマスは受肉を祝うことでもあります。キリストの誕生はベトレヘムでのきわめて重大な歴史的出来事であり、しかも受肉は継続的な救いのプロセスであります。クリスマスに、私たちは受肉という途方もない出来事を祝います。神がこの世界に入って来られてからは、すべては変えられて、新しくなりました。神は、今日も神の体を形づくる男性、女性、子供たちにおいて受肉し続けておられます。私たちは、聖霊の力によって、神の民のうちに生まれ続けるキリストを祝います。キリストにおける私たちの贖いを飲み、また、私たちの間に現存される神によってすべての創造物に変容されることを飲みます。

受肉の神秘の祝いは、ニコラ・バレから受け継いだ精神を生きようとする私たちにとって特別に意味のある出来事です。1662年ルアンにおいて最初のシスター達が始めた宣教から350年になります。ある国ではもうその祝いを始めています。時代の人であったニコラ・バレは、‘時代の人であるように、周りの人々の現実や、その生活に密接に関わってくる出来事に触れているように’と、



最初のシスターたちに望みました。今日、私たちは、世界の出来事に直ちに触れる瞬時伝達の世界に住んでいます。自然災害、経済危機、また、そのスケールの大きさに私たちを驚かせ、打ちのめす想定外の事件も含めて……。苦しむ人々と連帯して生きることへの呼びかけは、日々の必要に応えるようチャレンジするだけでなく、私たちの精神と心を開くよう促します。それは深く考え、祈り、分かち合うため、さらに一人一人が自分の小さな方法で神の肯定的、創造的エネルギーに貢献することができる信じることのためなのです。「命あるすべてのものを絶え間なく創り、また創り直し続ける」（2007年国際代表者会議文書より）神の創造的エネルギーに。

歴史のどの時代にもまさって、会員の帰属意識と互いを思いやる意識を深めてくれているのは現代世界とテクノロジーです。会のウェブサイト ([www.infantjesussisters.org](http://www.infantjesussisters.org)) はこの点で特に役に立つ手段であり、今年よく利用されています。自然災害を受けた人々とコンタクトをとり、サポートし続けるのを助け、また喜ばしいイベントを詳しく分かち合う場にもなっています。このウェブサイトは現在頻繁に更新されており 350 周年記念行事も含め会の最新ニュースをつかむことができます。来年、ペルーで開かれる会の顧問会関係のニュースも議事の報告と併せてお届けするつもりです。

喜びと感謝の心をもって今年のクリスマスを祝いましょう。神が人間としてこの地球に来られたことを祝って、また私たちの心に映し出された神の栄光を祝って。驚嘆によって私たちの目が開かれますように。私たちが神を知り、神を愛していることを、自分たちの生き方を通してこの世界が見ますように。

マリアグネスと方子と共に皆さまお一人おひとりにお祝いを申し上げます：

幸せと平和に満ちたクリスマスでありますように。

マリ

